



第55号

2019年7月10日発行
 日本獣医生命科学大学
 同窓会
 東京都武蔵野市
 境南町1-7-1
 発行者 中條 眞二郎
 直通電話・FAX
 0422-33-2916
 E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
 URL http://nvlu-dosokai.
 academic-sol.com/

令和を迎えて

日本獣医生命科学大学同窓会会長

中條 眞二郎



会員の皆様、いつも日本獣医生命科学大学同窓会に温かいご支援とご協力いただき誠にありがとうございます。

2019年5月1日から、元号が令和に改められ、天皇・皇后両陛下のご公務に励まれているお姿を拝見しますと新しい時代になったと思わせます。本会報第55号は、令和最初の記念号となります。元号が変わって、新たな気持ちを持って同窓会運営に一層気を奮い立たせようと思っております。

北海道では、例年残雪の季節と思われる五月に、日本で一番暑い30度を越す夏日にな

り、学童の運動会では熱中症により多くの生徒が倒れ、また80歳を超えたお婆さんが畑で死亡していたという痛ましいニュース等が梅雨前に報道されました。夏と云えば七・八月ですが四月から当たり前のように25度を超す暑さとなり、この先の気象が恐ろしくなります。どうか会員皆様には暑さ対策は勿論、地震、大雨にも注意を払って自己防衛をしてお過ごし下さい。

来年2020年は、二回目の東京オリンピック開催を迎えます。私的なことですが、昭和39年の東京オリンピックの年に、卒業し同期会を五輪会(いつわかい)と称しています。全国の同期生が幹事となり持ち回りで世話をしてくれますので、楽しい旅行と同期会を毎年開催しております。幾つになっても学生時代に帰り至福の時を過ごせるのは同期・同窓の集まりです。

令和のオリンピックの入場券は、インターネットで予約を申し込むとか、更に高額な入場料にはびつくりです。前のオリンピック時は勿論パソコンの無い時代でしたが、オリンピックの入場券の入手困難と競技入場料がそんなに高価だったか記憶にありません。ただ、ソニーがオリンピックに併せてカラーテレビを発売したことだけははっきりと覚えてます。モノクロからカラーの時代となり、高度

成長と言われる時代の礎になりました。

昭和の東京オリンピック後の日本の経済の繁栄は大学の繁栄にも繋がりました。大学受験も進学率が右肩上がりとなり、私立大学のマンモス化で建物はデパートと言われるような煌びやかさを誇って受験生集めに一役を担いました。それに比べ戦前からの木造校舎で最悪な母校でしたが、時代に乗って右肩上がりに受験生が増え、受験生の収容が学内で足りず近隣の大学を借りるほどの倍率をみましました。マンモス大学と言われた有名大学と同じように、母校も定員以上の入学者を入れ(一学年180名越えることもあった)、全員が出席すると立ちながら、受講する学生が出ることもありました。マンモス授業などの流行語が流行ったのもこの頃です。同窓皆様も当時の想い出を振り返ると昨日のように色々と思だされるのではないですか。

東日本大震災、福島原発事故、熊本地震、広島・岡山等の豪雨による自然災害からまだ立ち直っていません。世界的な社会情勢も米中関係悪化による日本への悪影響なども、昭和オリンピックにあやかっただけで現在の日本社会に活気が吹き込まれ、経済効果の上昇を期待したいこの頃の時勢です。

オリンピック開催誘致は、膨大な資金が必要になり東京で二回も開催することを栄えりか、金がかかり無駄と思うか考えはそれぞれでしょう。経済的に開催できない国もあり、半世紀に一度巡って来た、令和のオリンピックを、世界中から参加するアスリートが十分に力を発揮し、喜んで貰えるオリンピックとなれば、後世に残るのではないのでしょうか。以前からお知らせしています母校の創立1

40周年は、オリンピックの次の年になります。本学は、明治・大正・昭和・平成から新元号令和を数え、2021年が開学から140周年を迎える年になります。この記念すべき式典・祝賀会の主催は大学が執り行い、同窓会は共催で全面的に支援・協力をします。招待者の多くは、同窓生であり学科所属関係なく全体の同窓生によってお祝いをするものであります。

130周年は、2011年9月に皇族と政府関係のご列席を賜り盛会裡に行いました。永年の悲願でありました校舎の整備が進み、臨床棟、教育・研究棟・体育館などが新設され、晴れがましい催しでした。母校もセピアからカラーの時代によりやくなった感じがしました。大学周辺も一変し、中央線の立体化に伴い現代風の武蔵境駅舎になり、武蔵境は東京でも住み良い街の一つに数えられる市街になっています。

十年一昔と言いますが、あつという間に十年は経ってしまいます。大学と同窓会も明日はどのように進化しているか分かりません。140周年を各自の胸に遺る記念の会だと思います。是非参加されますようお願いいたします。

十年以上も会長職の重責を担ってきますと肉体ばかりでなく精神も疲弊してきたような気持ちにもなります。池本学長からの薦めもあって会長職を受けてから、池本学長の学内整備に対する精力的な働きが今日のキャンパスであり、同窓会も支援協力を惜しみなく行い、約十年近く掛かり現在のキャンパスが整ったのではないのでしょうか。池本先生は、学長職を退きましたが獣医看

護師の資格問題を何とか解決したかったと思います。獣医看護師の学科を全国の大学に創設した当事者で、学生も望んでいるのは、4年制の修業に見合った国家認定資格の授与で、取得資格が社会的に認知されることです。取得の為の地道な運動が実を結び国会で審議されるのも近いと思います。獣医看護師が高度獣医療に見合った国家認定を学生に与えられるような教育を、大学は将来の獣医療に限らず生物社会に貢献する優秀な獣医看護師の輩出に取り組み姿勢をお願いします。

同窓会は、同窓生の母校愛に助けられて会の運営がされます。事業で大きなことは同窓生の住所の管理、情報を伝える会報の発行と学生を含めた同窓生の活動(学術・研究等含)に支援協力することですが、これらを遂行する予算は皆さんの会費に依存しています。会費納入者が卒業生は増えているのに年々減少しております。

何卒、会費納入にご理解賜りますようお願い申し上げます。



2019年度日本獣医生命科学 大学同窓会代議員会開催について

今年度の代議員会は2019年7月20日(土)午後1時から母校第111講義室に於いて開催されます。今年度は役員改選の年度となります。新会則6章の第21、22条および理事及び監事の立候補に関する規程を熟読され、各ブロックから新理事を選出されますようお願い致します。

事務局だより

業務時間は祝祭日を除く月・火・木・金曜日の午前11時から午後4時となっております。事務局の勤務は一人体制で、業務で外出する場合がありますのでご了承下さい。

住所変更等の届け出

住所変更は本人届け出を原則としております。会報等があて先人不明で返信された場合、住所不明扱いになります。住所変更届け用紙は同窓会ホームページから印刷してください。

支部総会へ同窓会本部からの 派遣依頼について

派遣の人選は依頼順に事務局で調整しております。支部から派遣希望者へ直接依頼した場合は同窓会からの経費が支給されません、ご注意下さい。

同窓会会費納入のお願い

本会の事業は会員の納入会費(年間3,000円)によって運営されております。会費は会則により支部一括納入となっております。今年度の納入の詳細は1月発行(56号)にてお知らせ致します。個人払込取扱票が必要な方は同窓会事務局へ連絡願います。

母校附属動物病院との 連携動物病院の申請について

手続き窓口は同窓会事務局となっております。申請用紙、詳細については同窓会ホームページをご覧ください。

会報へ投稿依頼のお知らせ

同期会、研究室同窓会、クラブ同窓会などの開催報告を投稿してください。3000程度と写真、いずれも電子版にてEメール等で投稿願います。ホームページと会報に掲載しますが、会報は紙面の制約で編集会議にて採用を決定します。

次に該当する会員は事務局までご連絡を

国会議員、市長村長、市議会等へ選出・再選された方。叙勲を授章された方。他大学で博士号を授与された方。逝去された会員等。

第4回医獣祭に同窓会ブースを 開設致します

今年度は医獣祭期間の11月3・4日に同窓会会議室に同窓会ブースを開設します。皆様のお越しをお待ちしております。

同窓会関係情報

(本部に届出のみ記載)

- 旭日賞授章
2019年5月21日 篠原 公七氏
獣医19期
- オーストラリア国立クイーンズランド大学より教育文化交流賞授章
2018年 時田 昇臣氏(母校動物科
学科動物栄養学准教授)
- 動物27期
- 秋田県議会議員再選
2018年4月14日 竹下 博英氏
獣医24期
- 秋田県大館市議会議員再選
2018年4月21日 佐藤 芳忠氏
食品24期

日本医科大学広報を同封します

今回は動物医療センター特集号です。最新情報をご覧ください。

同窓会近況

大学獣医24期同期会報告

私達は1976年卒業以来長らく同期会が開催されていませんでした。

2014年に38年ぶりに大学に集まり第1回同期会を行いました。参加者は39名で盛大に、かつ旧交を温めました。

次回はオリンピックの年に再会しようとの約束で散会しました。その後、旧学友会役員の佐藤賢州氏から、2020年東京オリンピックの前に「一部の人間だけでも集ろう」と言う事で2018年11月3日学園祭の最中お昼に同窓会室に集合しました。

そして大学近くのファミレス、喫茶店、料理屋さんと三つ会まで7時間以上歓談出来ました。参加人数は9名と少数でしたが全員と個別にゆつくりとお話をする時間を持つことができました。

当日の意見として、2020年に第2回同期会を視野に入れつつ、2019年に集まるという事になりました。今回はザックリ同期会の型式で参加人数、会場予約は大雑把でスピーチも無く「何となく集まり、何となく解散」と言う方法でも気軽に行なえました。改めてこの様な方法も良いかなとの事で意見が一致しました。同窓の皆様もこの様な開催方法もある事をご検討ください。

次回は2019年10月頃に開催予定です。

2018年11月

幹事 米谷(山岡)敦子

参加者…一瀬修三 大澤一之 佐藤賢州



佐藤恭子 鈴木妙子 羽生奈々子
宮川幸子 山口靖人(文責)

母校近況

教員人事

(2018年10月1日)

○新任(2018年10月1日付)

准教授

味戸 忠春(産業動物臨床学)

講師

松田 寛子(農産食品学)

○新任(2019年4月1日付)

助教

鈴木 亮平(獣医内科学)

助教

田中 亜紀(野生動物学)

○昇任(2018年10月1日付)

教授

塚田 晃三(獣医病理学)

准教授

森田 達志(獣医寄生虫学)

○昇任(2019年4月1日付)

教授

長谷川 大輔(獣医放射線学)

教授

長田 雅弘(システム経営学)

教授

大橋 雄二(食品衛生学)

准教授

山本 昌美(獣医保健看護学応用部門)

准教授

昭博(獣医保健看護学臨床部門)

准教授

小林 史幸(食品工学)

講師

神野 信夫(獣医外科学)

講師

鈴木 周二(獣医外科学)

講師

三浦 亮太郎(産業動物臨床学)

講師

関 瀬利(付属動物医療センター)

助教

清水 孝一(付属動物医療センター)

○退職(2019年3月31日付)

准教授

皆上 大吾(獣医保健看護学臨床部門)

助教

佐藤 由佳(獣医衛生学)

○定年退職(2019年3月31日付)

教授

吉村 格(富士アニマルファーム)



2018年度 獣医師国家試験について

獣医学科長 田中 良和

第70回獣医師国家試験は、2019年2月

19日(火)、20日(水)に実施され、その合格結果が3月13日(水)に公表された。受験者総数は1141人(新卒977人)であり、合格者は全体で942人(新卒896人)であった。合格率でみると全体では82.6%、既卒者は26.0%であった。昨年度の合格率は、全体で88.3%、新卒者96.9%、既卒者62.2%であり、昨年と比較すると全体と既卒者で5%位低く、さらに既卒者は36%も減少した。

大学別の合格者数および合格率は表の通りであった。本学は、6年次在籍者78名のうち、75名が受験し75名中74名(98.7%)が合格

区分	大学名	第70回		
		受験者数	合格者数	合格率
新卒者	北海道大学	37	36	97.3%
	帯広畜産大学	44	33	75.0%
	岩手大学	30	29	96.7%
	東京大学	24	23	95.8%
	東京農工大学	42	42	100.0%
	岐阜大学	28	28	100.0%
	鳥取大学	35	32	91.4%
	山口大学	28	27	96.4%
	宮崎大学	32	28	87.5%
	鹿児島大学	31	28	90.3%
	大阪府立大学	46	42	91.3%
	酪農学園大学	129	117	90.7%
	北里大学	129	117	90.7%
	日本獣医生命科学大学	75	74	98.7%
	日本大学	134	128	95.5%
	麻布大学	133	112	84.2%
	新卒者数計	977	896	91.7%
	既 卒 者	146	38	26.0%
	受験資格認定者	18	8	44.4%
予備試験合格者	-	-	-	
合 計	1,141	942	82.6%	

し、合格率でみると全国16大学中2位、私立5大学では一昨年、昨年に続き1位の成績であった。全国的にも100%の合格率の大学が2校あり、1校だけが極端に合格率が悪かったことを除けば、一昨年くらいの合格率に戻ったようである(表参照)。

本学では獣医師国家試験に対して、学生自身による国家試験問題集の作成、学生間のグループ学習や6年次後期の総合獣医学を通じて国家試験対策を行っている。また、6年次後期に土曜学校と称される実地試験対策授業を若手教員、大学院生、研究生の協力を得て行っている。最終的には既卒者に対してもカバーしている。最終的には国家試験出題形式に準じた模擬試験と2回の卒業試験を実施している。昨年度は卒業生数が少なくなかったが、今年度は、100名近い卒業生が受験するので、班集体の勉強会がうまくいくよう教員一同バックアップしていきたいと考えている。

2018年度 梅野信吉賞受賞者

選考委員長 田崎 弘之

2018年度梅野信吉賞には、1名の応募者があり、当該委員会において内容を厳正に審査しました。その結果、獣医保健看護学科学部応用部門の山本俊昭准教授を梅野信吉賞受賞者とすることに決定しました。

山本准教授は、2001年に北海道大学農学研究科で博士(農学)の学位を取得され、2003年に本学特別研究員を経て、2005年に本学獣医保健看護学科学部の講師に就任されました。2015年には准教授に昇任され、現在に至っています。

受賞研究課題は、「親子関係に着目した野生動物の成長、分散および成熟に関する研究」です。これは、分子生物学的手法を用いて親子関係を明らかにし、様々な成長過程において親の性質が子に対してどのような影響を及ぼしているのかを解明された研究です。ツキノワグマの研究では、膨大な個体数におよぶ血縁関係の解析と詳細な行動データを融合させ、これまで解明できなかった繁殖生態を明らかにしました。すなわち、20年以上に渡り長野県軽井沢町周辺においてツキノワグマの調査・研究を行ってきたNPO法人ピッキオと共同研究を進め、600頭以上の血縁関係を調べ、多個体の長期的な追跡調査から個体の成長、分散、冬眠および成熟に対する親の影響を明らかにしてきました。また、魚類では人工交配による実験から、親の性質

による影響を野外で正確に示すことに成功さ

れました。すなわち、サクラマスを対象とした研究で、親の生活史が異なる親個体を約50個体を用いて人工交配させた後、子供を河川内に放流し、一定の期間後にそれら個体を再捕獲することによって、親の性質が子の成長、分散および成熟にどのような影響を及ぼしているのかを調べて来られました。その結果、成長の早い父親から生まれてきた子は上流域に留まり続ける傾向があること、早熟な親から生まれてきた子も早熟であることなど、世界で初めて野外において検証されました。

対象とした種は魚類と哺乳類で異なる分類群ですが、総合的理解によって生物全般の親子関係の進化生態学に貢献することを試みており、益々の発展が期待される場所です。ご本人は、もともと遺伝子解析を主たる武器とする純粋生態学的なアプローチをされてきましたが、近年ではその社会応用面にも強い関心と実績を持ち、特に行動生態的な解析に基づく解釈は野生動物の保護管理の面で行政や関連する活動団体からも高い評価を得ています。

2018年度梅野信吉賞授与式は、2019年4月11日E111講義室において挙行され、阿久澤良造学長より山本准教授に賞状及び副賞(同窓会より)が贈られました。



2019年度 入学試験結果 入試課

2019年度入学試験の結果は表のとおりである。志願者数は4,479名(昨年度比124・7%)となった。

今回より一般入学試験を3回実施し、志願者数は、3,134名(昨年度比142・2%)と、昨年度から大きく増加した。また、センター試験利用入学試験の志願者数は、1,159名(昨年度比97・7%)で、こちらは昨年度から減少した。

2020年度入学試験では、一般入学試験を同様に3回実施し、全日程において4学科での併願が可能になっている。

獣医学科	80名
獣医保健看護学科	100名
動物科学科	100名
食品科学科	90名
合計	370名

2019年度試験区分別入学試験結果

学部	学科	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
獣医学部	獣医学科	[推薦] 一般公募推薦	54	54	17	3.2	
		[特別選抜] 社会人	2	2	0	0.0	
		帰国子女及びIB取得者	2	2	0	0.0	
		獣医師後継者育成及び地域獣医療支援	10	10	3	3.3	
		学士	12	12	1	12.0	
		センター試験利用(第一回)	504	479	24	20.0	
	獣医学部	獣医保健看護学科	一般(第一回)[センター試験併用方式]	790	685	50	13.7
			一般(第二回)[独自試験方式]	872	806	52	15.5
			一般(第三回)[独自試験方式]	336	294	47	6.3
			合計	2582	2344	194	—
			[推薦] 一般公募推薦	59	59	27	2.2
			指定校推薦	4	4	4	1.0
獣医学部	獣医保健看護学科	[特別選抜] 帰国子女及びIB取得者	1	1	0	0.0	
		センター試験利用(第一回)	200	198	48	4.1	
		一般(第一回)[センター試験併用方式]	135	120	45	2.7	
		一般(第二回)[独自試験方式]	260	252	95	2.7	
		一般(第三回)[独自試験方式]	64	59	11	5.4	
		合計	723	693	230	—	
	応用生命科学部	動物科学科	学部合計	3305	3037	424	—
			[推薦] 一般公募推薦	17	17	15	1.1
			指定校推薦	9	9	9	1.0
			センター試験利用(第一回)	246	245	135	1.8
			センター試験利用(第二回)	17	17	9	1.9
			一般(第一回)[センター試験併用方式]	114	104	86	1.2
食品科学科		一般(第二回)[独自試験方式]	256	244	126	1.9	
		一般(第三回)[独自試験方式]	64	55	17	3.2	
		合計	723	691	397	—	
		[推薦] 一般公募推薦	9	9	9	1.0	
		指定校推薦	7	7	7	1.0	
		センター試験利用(第一回)	181	181	100	1.8	
食品科学科	センター試験利用(第二回)	11	11	6	1.8		
	一般(第一回)[センター試験併用方式]	55	50	40	1.3		
	一般(第二回)[独自試験方式]	137	134	125	1.1		
	一般(第三回)[独自試験方式]	51	37	31	1.2		
	合計	451	429	318	—		
	学部合計	1174	1120	715	—		
総合計			4479	4157	1139	—	

2019年度学科別地区別入学者数

学部	学科	地区	入学者数	合計			
獣医学部	獣医学科	北海道	1	80			
		東北	2				
		関東甲信越	60				
		北陸	1				
		東海	5				
		近畿	6				
		中国	0				
		四国	1				
		九州・沖縄	3				
		その他	1				
		獣医学部	獣医保健看護学科		北海道	2	100
					東北	2	
関東甲信越	87						
北陸	0						
東海	6						
近畿	1						
中国	0						
四国	2						
九州・沖縄	0						
その他	0						
応用生命科学部	動物科学科			北海道	1	100	
				東北	2		
		関東甲信越	84				
		北陸	1				
		東海	3				
		近畿	7				
		中国	0				
		四国	0				
		九州・沖縄	1				
		その他	1				
		応用生命科学部	食品科学科	北海道	0		90
				東北	1		
関東甲信越	87						
北陸	0						
東海	1						
近畿	0						
中国	0						
四国	0						
九州・沖縄	1						
その他	0						

2018年度学位記授与式

学生支援課

2019年3月14日(木)午前10時から、日本獣医生命科学大学「平成30年度学位記授与式」がアリーナ(体育館)で挙行された。授与式には、学校法人理事、日本医科大学関係者、母校名誉教授、同窓会役員、父母会役



員、公益財団法人日本獣医師会会長など、多数の来賓を招き執り行われた。大学院の学位記授与者については、大学院獣医学専攻博士課程修了者及び論文審査合格者6名、獣医保健看護学専攻博士前期課程修了者及び博士後期課程修了者8名、応用生命科学専攻博士前期課程修了者及び博士後期課程修了者、さらに論文審査合格者9名の合計23名。学部学位記授与者については、獣医学科78名、獣医



保健看護学科100名、動物科学科91名、食品科学科84名の合計353名に学位記が手渡された。引き続き阿久澤学長式辞、坂本理事長・中條同窓会長の祝辞を頂戴した後、学長賞・櫻賞、獣医師会褒賞、同窓会長賞の授与があり、同窓会、父母会の記念品贈呈、卒業生代表挨拶のあと学歌斉唱後閉会となった。

2021年度より入試は共通テストを利用予定

入学試験委員会委員長 鈴木 浩悦

2020年度から大学入試センター試験に代わり大学入学共通テストが導入されます。これに合わせて本学でも同年度実施の入試から、センター試験に代わり共通テストを利用する予定です。基本的には現行の入試区分に合わせて、共通テストの成績で合否判定する「共通テスト利用選抜」、共通テストと本学独自試験の成績で合否判定する「一般選抜(共通テスト併用方式)」、本学独自試験の成績で合否判定する「一般選抜(独自試験方式)」を実施する予定です(いずれも仮称)。なお、主体性・多様性・協働性や倫理観を評価するため調査書に加えて受験生本人が記入した書類の提出を出願要件としますが、これを得点化して合否判定に用いることはしません。また、当面の間、英語外部検定試験の受験やスコアの提出は課さない予定です。推薦入試については大きな変更は予定していません。詳しくは本学ホームページをご覧ください。



2018年度 学生表彰

学生支援課

学長賞、公益社団法人日本獣医師会褒賞、同窓会長賞は最終学年を対象として選出され、武蔵野賞は各学年から選出される。また、櫻賞は課外活動において優れた成果を取めた個人又は団体に贈られる。授与については、最終学年は学位記授与式にて表彰され、在学生は入学式にて表彰された。(敬称略)

・学長賞

獣医学科 6年 柴 舞華
 獣医保健看護学科 4年 赤堀 由起恵

動物科学科 4年 市川 みのり
 食品科学科 4年 真弓 佳奈子

・公益社団法人日本獣医師会褒賞

獣医学科 6年 伏居 南美

・同窓会長賞

獣医学科 6年 矢野 健人

獣医保健看護学科 4年 山下 詠里

動物科学科 4年 西尾 直也

食品科学科 4年 新井 紘平

・武蔵野賞

獣医学科 2年 中山 夏那

獣医学科 2年 清水 紀里子

獣医学科 2年 永江 周平

獣医学科 3年 徳長 ゆり香

獣医学科 3年 鉄 治慶

獣医学科 3年 田原 果凜

獣医学科 4年 漆山 尚也

獣医学科 4年 林 竜吉

獣医学科 4年 漆山 文也

獣医学科 5年 河西 晴子

2019年度 卒業生就職状況

学生支援課 課長

清水謙一

2019年度の就職状況は、就職希望者4学科全員の314人が希望する就職先に就職できました。この実績は本学キャリア支援センター開設以来、夢に見た数字で、いつかは一人残らず就職が決定し卒業して欲しいと願っていました。

また、就職だけでなく大学院等への進学も、希望者全員が進学でき大変感慨深い年になりました。売り手市場とは言え学生たちと教職員員の努力の成果が実った結果です。

学科別では獣医学科は67名が就職しました。その内、小動物臨床へは40名(60%)が就職し本学ならではの数字を誇っています。また10名(15%)が地方自治体の公務員獣医師として勤務し、公務員志向が上昇しているのが分かります。顕著なところでは、動物園・水族館希望者の成果が出て、東京動物園協会、沖縄こどもの国、鴨川シーワールド等の獣医師として勤務しています。進学者は9名で本学大学院、東京大学大学院等へ進学しました。また獣医保健看護学科は87名が就職しました。その内動物病院の看護師として42名(48%)が就職し専門を活かして勤務しています。本学の付属動物医療センターにも2名が採用され活躍しています。日本全業工業や共立製薬等、動物薬に特化した医薬品メーカーに6名が就職し人気が就職先です。また公衆衛生学の知識を活かした就職先では、農林水産省動物検疫所、東京都特別区の食品衛

生監視員で採用されています。進学は9名で、本学大学院、横浜市立大学大学院等に進んでいます。応用生命科学部動物科学科は82名が就職しました。今年の傾向は畜産酪農関係の仕事に就く学生が11名と多く、学びの本領を發揮した仕事に就いています。具体的には、日本食肉格付協会、福島県酪農農業協同組合、瑞穂農場、森永酪農販売(飼料)等の学科ならではの業界で勤務しています。製薬メーカー・CRO等医薬品業界でも7名が就職し動物学の強みが活かされています。特筆できるのは、農林水産省、東京動物園協会への強い希望が叶った学生がとて輝いていたことです。進学者は7名、本学大学院、千葉大学、群馬大学等の大学院へ進学しました。また食品科学科は78名が就職しました。その内、食品・素材メーカーが33名(42%)と食品製造に携わる学科の専攻を活かせる仕事をしています。中には学部卒で研究職に就くなど入社当初から期待されている学生います。具体的には長谷川香料、コカ・コーラボトラーズジャパン、六甲バター、UCC、伊藤ハム等、優良企業に就職しています。食品衛生学の知識を活かした、東京都特別区での食品衛生監視員、大手受託検査機関への就職も4名と健闘しています。進学は4名で本学大学院、茨城大学大学院等へ進学しました。昨年よりキャリア支援センターが学生支援課として統合されキャリア支援相談室としてその機能を發揮しています。令和元年度の卒業生も先輩たちに続き、全員内定100%を達成したいものです。引続き同窓会の諸先輩方、キャリア支援委員の先生方との連携によりキャリア支援活動を積極的に行って参ります。



2019年度 入学式
 学生支援課
 2019年4月4日(木) 午前10時から「日本獣医生命科学大学入学式」がアリーナ(体育館)において、学校法人理事、日本医科大学関係者、同窓会役員、後援会役員、亜細亜大学学長、武蔵野市長など、多数の来賓を招き執り行われた。
 獣医学専攻博士課程6名、獣医保健看護学



専攻博士前期課程4名、同後期課程2名、応用生命科学専攻博士前期課程6名、同後期課程1名、獣医学科80名、獣医保健看護学科100名、動物科学科100名、食品科学科90名の合計389名が入学した。
 新入生紹介に始まり、阿久澤学長式辞、坂本理事長・中條同窓会会長の祝辞を頂戴した後、同窓会及び後援会から記念品が贈呈された。引き続き武蔵野賞授与式があり学科斉唱後閉会した。

2020年度入学試験日程

入試区分	学科	試験日
推薦入学試験 一般公募推薦 指定校推薦	獣医学科※ 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科 ※獣医学科では指定校推薦を実施していません。	2019年11月17日(日)
	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2019年11月17日(日)
特別選抜入学試験 社会人 帰国子女/IB取得者 獣医師後継者育成/ 地域獣医療支援	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2019年11月17日(日)
	獣医学科	2019年11月17日(日)
編入学試験 編入学試験(学士) 編入学試験	獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2019年11月17日(日)
	獣医保健看護学科 食品科学科	2019年11月17日(日)
センター試験利用 入学試験	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	大学入試センター試験 2020年1月18日(土)・19日(日)
	動物科学科 食品科学科	大学入試センター試験 2020年1月18日(土)・19日(日)
一般入学試験 独自試験方式 センター試験併用方式 独自試験方式	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2020年2月5日(水)
	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	大学入試センター試験 2020年1月18日(土)・19日(日)
	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	本学試験2020年2月6日(木)
	獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2020年3月2日(月)

※1 大学入試センター試験の成績のみで合否判定する方式の試験です。
 ※2 本学独自試験の成績で合否判定する方式の試験です。
 ※3 大学入試センター試験の成績と本学独自試験の成績の合計で合否判定する方式の試験です。

2019年度オープンキャンパス

担当学科	開催日時
獣医学科 獣医保健看護学科 動物科学科 食品科学科	2019年8月17日(土) 10:30~16:00
	2019年8月18日(日) 10:30~16:00
	2019年10月6日(日) 10:30~16:00
獣医学科 獣医保健看護学科	2019年11月2日(土)※ 10:30~16:00
動物科学科 食品科学科	2019年11月3日(日)※ 10:30~16:00

※医獣祭と同時開催

2020年度入学試験・オープンキャンパス情報

入試課

お問い合わせ TEL: 0422-31-4151 入試課